



Press release

2020年9月17日

アクサの
一生保障の医療保険
スマート・ケア

アクサ生命、医療環境の変化に対応した次世代型の終身医療保険『スマート・ケア』 認知症一時金特約を新設し、要介護1から保障

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長兼CEO:安淵聖司)は、『アクサの「一生保障」の医療保険スマート・ケア《正式名称:医療治療保険(無解約払いもどし金型)》』(以下、『スマート・ケア』)を改定し、「人生100年時代」に必要とされる保障のニーズによりよくお応えできるよう、2020年9月23日より、認知症一時金特約および通院支援特約(退院・外来手術時給付型)の取り扱いを開始いたします。

厚生労働省の調査によると、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年には、認知症患者数は675万人に達し、65歳以上の約5人に1人が発症すると推計されています^(※1)。また、要介護の主な原因の第1位は認知症^(※2)となっており、認知症は、ますます身近で、誰もが備える必要のある病気になりつつあるといえます。

『スマート・ケア』は、平均在院日数の短期化や入院費用の高額化など、医療環境の変化に対応した次世代型の医療保険をコンセプトに、2017年9月に発売されました。今回の改定では、認知症に関する社会的課題に注目し、認知症に備え、認知症になっても、できるだけ「その人らしい」生活を送っていただくための支援が受けられるよう、認知症一時金特約を新設しました。認知症一時金特約は公的介護保険制度における「要介護1」以上に認定され、所定の認知症と診断確定された場合、契約当初から最大150万円の一時金をお支払いし、認知症の治療や介護費用などの経済的負担をカバーします。『スマート・ケア』に認知症を早期段階から保障する給付を加えることによって、「人生100年時代」の生活に新たな安心をお届けします。

同時に、今回の改定では、通院保障をこれまでの日額タイプから一時金給付タイプに改定し、請求手続きを簡素化します。当社は、「お客さま本位の業務運営」を実現するための取り組みのひとつとして、新規契約・保全の手続きをされたお客さまにアンケートを実施し、「お客さまからの評価」として公式サイトに公開するとともに、いただいたご意見・ご要望を商品・サービスの品質向上や改善に反映させる取り組みを続けています。請求手続きの手間や煩雑さに関するお客さまのご意見・ご要望をもとに、通院保障を一時金給付タイプとすることで、お客さまの給付金請求にかかる利便性を向上させます。

また、『スマート・ケア』には、医療保障に加え、「アクサメディカルアシスタンスサービス」と、従来の介護・リハビリサポートサービスからMCI(軽度認知障害)や認知症の予防・早期発見や専門相談に特化し直通ダイヤルとした「MCI・認知症総合相談ダイヤル」、介護関連サービス「ウェルエイジングサポートあすのえがお」が付帯されます。幅広い保障とサービス、アフターフォローが、お客さまをリスクからお守りし、不安の軽減をサポートします。

アクサ生命は、今後もお客さまに寄り添い、大切なものをお守りし、よりよい未来のためにサポートできる真の「パートナー」となることを目指します。

■『スマート・ケア』の特長

1. 日帰り入院から入院治療一時金をお支払いします。集中治療室(ICU)管理、手術、放射線治療を受けたときも給付金をお支払いします。
2. 入院の有無を問わず、公的医療保険制度の対象である約1,000種類の手術について、手術給付金をお支払いします。手術給付金は、最高50倍(基本給付金額×50)までお支払いします。
3. 外来手術を受けたとき、または入院し生存退院したとき、通院支援一時金をお支払いします。^(※3)
4. 3大疾病(ガン・急性心筋梗塞・脳卒中)で所定の状態になった場合には一時金を受け取ることができ、保険料の払い込みが免除されます。^(※4)
5. 認知症と診断確定され、かつ公的介護保険制度の要介護1以上に認定されたとき、認知症一時金をお支払いします。^(※5)
6. 「重症化予防一時金・見舞金特約」や「女性疾病入院・特定手術給付特約」などを付加することで保障内容をさらに充実させることができます。



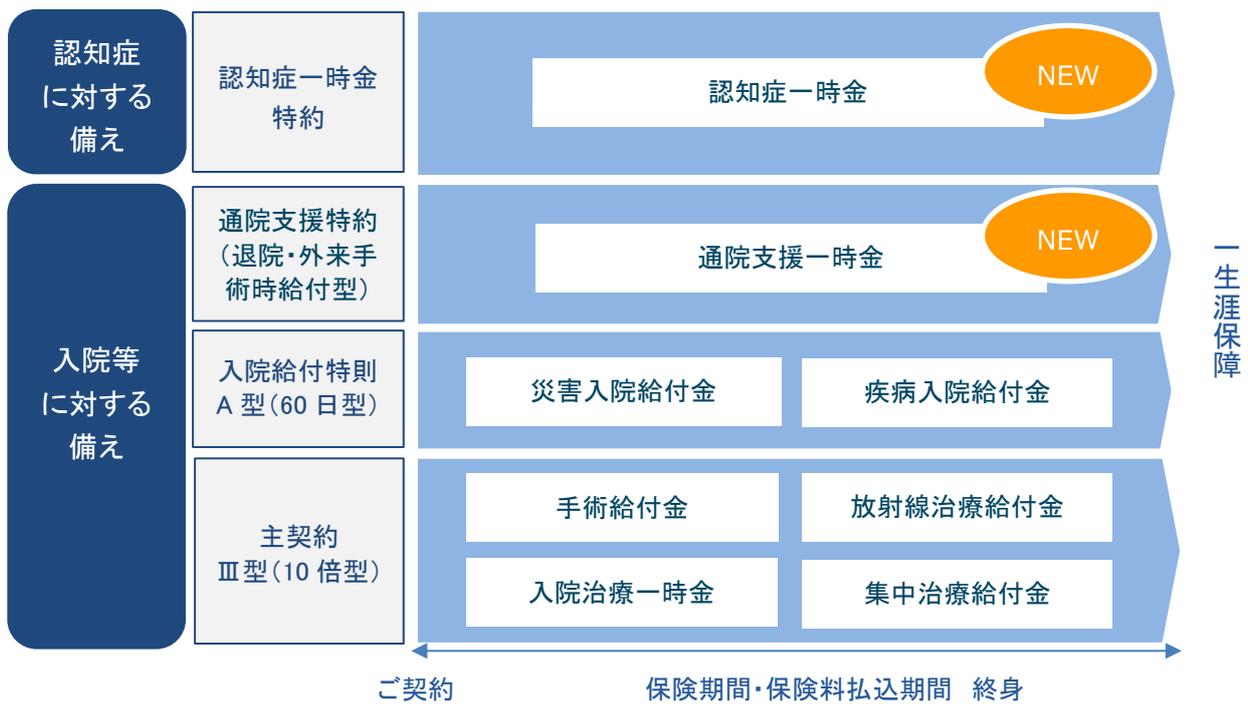
- ※1 内閣府「平成 29 年度 高齢社会白書」より
- ※2 厚生労働省「令和元年 国民生活基礎調査」より
- ※3 通院支援特約(退院・外来手術時給付型)を付加した場合
- ※4 3大疾病一時金特約、3大疾病保険料払込免除特則を付加した場合
- ※5 認知症一時金特約を付加した場合

■しくみ図

主契約:医療治療保険(無解約払いもどし金型)Ⅲ型(10倍型)、特則:入院給付特則A型(60日型)

特約:通院支援特約(退院・外来手術時給付型)、認知症一時金特約

保険期間・保険料払込期間:終身



■認知症一時金特約

給付金名称	支払事由	支払額	支払限度
認知症一時金	次のすべてに該当したとき ・認知症と診断確定されたこと ・公的介護保険制度の要介護1以上に認定され、その認定の有効期間中であること	50～150万円で設定 (10万円単位)	1回限度

※加入年齢は40歳-80歳となります。

■通院支援特約(退院・外来手術時給付型)

給付金名称	支払事由	支払額	支払限度
通院支援一時金	①外来手術*を受けたとき ②1日以上入院し、生存退院したとき	特約基本給付金額×5倍 ただし、②の入院期間が30日以上の場合は10倍 特約基本給付金額は、主契約の基本給付金額以内かつ3,000～10,000円で設定	通算限度なし

*対象となる手術は、主契約の手術給付金が支払われる手術です。ただし、骨髄幹細胞の採取術および特定不妊治療は除きます。
(注)支払事由が同日に重複して生じた場合には、支払額の高いいずれか一方についてお支払いします。



■保険料例

主契約：Ⅲ型(10倍型) 基本給付金額5,000円, 入院給付特則A型(60日型)1.0倍, 3大疾病保険料払込免除特則なし

特約: 通院支援特約(退院・外来手術時給付型) 特約基本給付金額5,000円, 認知症一時金特約 認知症一時金額100万円

保険期間・保険料払込期間: 終身 保険料払込方法: 口座振替月払

(単位: 円)

性別	年齢	合計保険料	内訳		
			主契約	通院支援特約 (退院・外来手術時給付型)	認知症一時金特約
男性	40歳	4,155	2,695	620	840
	50歳	6,100	4,145	845	1,110
	60歳	9,380	6,550	1,150	1,680
女性	40歳	3,885	2,300	555	1,030
	50歳	5,445	3,325	690	1,430
	60歳	8,220	5,100	880	2,240

■認知症一時金特約開発の背景

1. 社会環境の変化

高齢化に伴い、認知症患者は今後も増加し、2025年には65歳以上の約5人に1人が認知症を発症すると推計されています。また、介護が必要となった主な原因のうち、認知症によるものの割合が一番高くなっており、認知症の治療や介護費用等の経済的な負担が増加することが予想されます。



<介護が必要になった理由>

- 第1位 認知症 24.8%
- 第2位 脳血管疾患(脳卒中) 18.4%
- 第3位 高齢による衰弱 12.1%

※出典: 厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査」に基づき作成 (要介護度1~5の場合)

2. 認知症に備えるべき費用

認知症になった場合、検査、投薬代等の治療費のほか、介護サービスの利用に費用がかかります。



■ 通院支援特約(退院・外来手術時給付型)開発の背景

1. 給付金をお支払いしたお客さまの声

給付金請求のお手続きにかかるお客さまのご負担を軽減するため、商品改定を行います。

請求手続きに関するお客さまの声

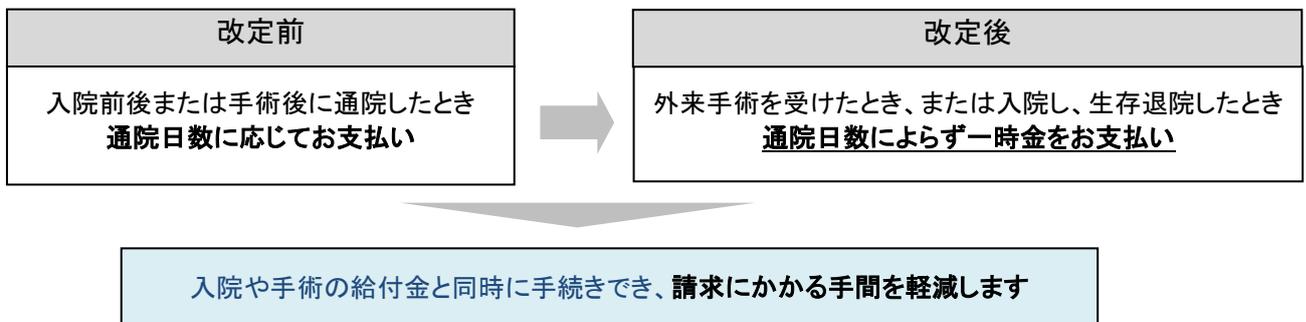
通院するたびに、コールセンターへ連絡しないといけないのが面倒です。

今後も定期的に通院があるが、もらえる通院保障の総額は結局いくらになるのでしょうか？

入院や手術があれば、普通は通院もある。保障内容がわかっているなら、通院給付の請求に必要な書類を同封してもらえると、何度も書類のやり取りをしなくて済むのに。

2. 改定内容

お客さまのご請求手続きに関する利便性が向上します。



本資料は、商品・サービスの概要を説明したものです。詳細については、パンフレットや約款等をご覧ください。



アクサ生命について

アクサ生命はアクサのメンバーカンパニーとして 1994 年に設立されました。アクサが世界で培ってきた知識と経験を活かし、254 万の個人、2,400 の企業・団体のお客さまに、死亡保障や医療・がん保障、年金、資産形成などの幅広い商品を、多様な販売チャネルを通じてお届けしています。2019 年度には、2,387 億円の保険金や年金、給付金等をお支払いしています。

アクサグループについて

アクサは世界 57 ケ国で 16 万人の従業員を擁し、1 億 800 万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく 2019 年度通期の売上は 1,035 億ユーロ、アンダーライニング・アーニングスは 65 億ユーロ、2019 年 12 月 31 日時点における運用資産総額は 9,690 億ユーロにのぼります。アクサはユーロネクスト・パリのコンパートメント A に上場しており、アクサの米国預託株式は OTC QX プラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス (DJSI) や FTSE4GOOD などの国際的な主要 SRI インデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ (UNEP FI) による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

*上記のアクサグループ数値は 2019 年度のもの

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします：

アクサ生命保険株式会社 広報部

電話：03-6737-7140

FAX：03-6737-5964

<http://www.axa.co.jp>
